

# 行政評価シート

事務事業名	防災設備整備事業(防災行政無線デジタル化、防災情報伝達システムの構築)		事業開始年度	H27	
担当部	市民部	担当課	生活環境課	担当係	生活防災係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	4. 助け合い、支え合い、安心して暮らせるまち
政策 (方策)	(2)市民の生命と財産を守ります
施策 (手法)	①防災対策の推進
取組事項	I. 防災対策の強化

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	現在のアナログ式の同報系及び移動系無線を次回免許更新時期(平成33年度)または平成34年11月までにデジタル化する必要があるなかで、大規模災害時等の有事における情報伝達の迅速化を図れる新たな防災情報データシステム導入により、安全・安心なまちづくりを図る。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・280MHz防災行政情報配信システム維持管理費 9,914千円</li> <li>・280MHz防災ラジオ整備 78,515千円</li> <li>・280MHz防災行政無線屋外拡声子局設置工事 369,647千円</li> </ul>
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	無線機器等の更新台数			指標の単位	台
指標の説明	年次計画に対しどの程度更新できたかにより評価する。				
	H28	H29	H30	R1	R2
目標値	—	9000	4000	—	277
実績値	—	9000	4000	—	277
達成度(%)	—	100	100	—	100
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	防災行政情報配信システムの配信局(岳)、送信局(本庁、各支所、消防本部)及び防災ラジオの整備により、市内全域を網羅する情報伝達体制が整い、市民の安全・安心が図られているため。				所管課評価  <b>A</b>

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	見直して継続
【説明】	H30年度は屋外拡声子局(屋外スピーカー)、R2年度には移動系(携帯用、公用車用)無線システムの整備を完了し、今後は、防災行政情報配信システムの維持管理及び適切な運用に努める。

# 行政評価シート

事務事業名	大規模盛土造成地の変動予測調査事業		事業開始年度	令和元年度	
担当部	建設部	担当課	都市計画課	担当係	計画係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	4. 助け合い、支え合い、安心して暮らせるまち
政策 (方策)	(2)市民の生命と財産を守ります
施策 (手法)	①防災対策の推進
取組事項	I. 防災対策の強化

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	大地震時等における宅地地盤の被害を防止するため、既存の造成宅地の大規模盛土造成地の有無とそれらの安全性の確認(変動予測調査)を実施する。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	国による大規模盛土造成地の有無の調査(第一次スクリーニング)を実施し、調査結果を公表する。(無の場合は調査完了)大規模盛土造成地が存在した場合は、地震時の安全性の確認(第二次スクリーニング)を実施し、調査結果を公表する。(変動の恐れなしの場合は調査完了)
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	調査、公表の有無			指標の単位	
指標の説明	指標の設定(数値化)は馴染まない(困難な)ため、調査、公表の有無とする。				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値				第一次スクリーニング	第二次スクリーニング計画の策定
実績(見込)値				129箇所抽出、公表	現地調査、公表
達成度(%)				100	100
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して効果はあったが課題もあった				
【説明】	国による第一次スクリーニングの実施により、大規模盛土造成地が129箇所存在することが判明したため、現地踏査し第二次スクリーニング計画の策定を実施した。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	大規模盛土造成地が新たに判明した場合は、随時公表する。 また、大規模盛土造成地の変動を早期発見するため、定期的に現地の確認を実施する。 大地震時に変動の恐れがある箇所が存在した場合は、滑動崩落防止事業を実施する。

# 行政評価シート

事務事業名	消防施設等整備事業(屯所)		事業開始年度	
担当部	市民部	担当課	生活環境課	担当係
				生活防災係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	4. 助け合い、支え合い、安心して暮らせるまち
政策 (方策)	(2)市民の生命と財産を守ります
施策 (手法)	①防災対策の推進
取組事項	Ⅱ. 消防体制・施設の強化

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	消防防災活動を行う消防団員の拠点となる消防屯所を計画的に整備・管理することにより、災害時の消火、減災、救助等活動を迅速に行えるようにし、安全・安心なまちづくりに資する。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・坂ノ下消防屯所(安達地域、H29繰越事業) 27,621千円</li> <li>・新町消防屯所(岩代地域、H29繰越事業) 24,567千円</li> <li>・三原町消防屯所(二本松地域、H30事業) 20,509千円</li> <li>・問屋消防屯所(東和地域、H30事業) 25,488千円</li> </ul>
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	屯所の改築棟数			指標の単位	棟
指標の説明	年次計画に対しどの程度改築できたかにより評価する。				
	H28	H29	H30	R1	R2
目標値	1	2	2	2	2
実績値	0	1	4	2	
達成度(%)	80	80	100	100	
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	毎月の定例会をはじめ、実際の火災・災害時の団員の活動拠点として機能するほか、消防車両の基地としての機能を果たし、市民の安全・安心が図られているため。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	原状のまま継続
【説明】	災害時や緊急時に即時対応するため、消防屯所の整備・更新を継続して行う。

# 行政評価シート

事務事業名	消防施設等整備事業(ポンプ車)		事業開始年度	
担当部	市民部	担当課	生活環境課	担当係
				生活防災係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	4. 助け合い、支え合い、安心して暮らせるまち
政策 (方策)	(2)市民の生命と財産を守ります
施策 (手法)	①防災対策の推進
取組事項	Ⅱ. 消防体制・施設の強化

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	機器が常に正常に使用できるよう計画的に整備・管理することにより、災害時の消火、減災、救助等活動を迅速に行えるようし、安全・安心なまちづくりに資する。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防ポンプ自動車の更新 1台 18,000千円</li> <li>・小型動力ポンプ積載車の更新 5台 30,500千円</li> <li>・小型動力ポンプの更新 2台 3,672千円</li> </ul>
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	消防機器の更新台数			指標の単位	台
指標の説明	年次計画に対しどの程度更新できたかにより評価する。				
	H28	H29	H30	R1	R2
目標値	11	9	8	8	10
実績値	11	9	8	8	
達成度(%)	100	100	100	100	
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	防火広報活動や放水訓練を始め、火災現場における消火活動などの減災活動の機動力の主力となる機器を更新することにより、迅速な災害対応を行う事が可能となり市民の安全・安心が図られているため。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	災害時や緊急時に即時対応するため、消防機器の整備・更新を継続して行う。

# 行政評価シート

事務事業名	消防施設等整備事業(消防水利施設)		事業開始年度	
担当部	市民部	担当課	生活環境課	担当係
				生活防災係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	4. 助け合い、支え合い、安心して暮らせるまち
政策 (方策)	(2)市民の生命と財産を守ります
施策 (手法)	①防災対策の推進
取組事項	Ⅱ. 消防体制・施設の強化

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	消火活動に不可欠な消防水利を計画的に整備・管理することにより、火災発生時に迅速な消火活動が可能となり、被害拡大の防止が図られるなど、安心・安全なまちづくりに資する。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	H30年度消火栓新設9基(二本松地域3基、安達地域2基、東和地域4基) 11,543千円 R1年度消火栓新設5基(二本松地域2基、安達地域1基、岩代地域2基) 7,325千円 防火水槽1基 1,500千円
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	消防水利の新設基数			指標の単位	基
指標の説明	年次計画に対しどの程度新設できたかにより評価する。				
	H28	H29	H30	R1	R2
目標値	5	9	9	6	3
実績値	5	9	9	6	
達成度(%)	100	100	100	100	
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	消防水利が無い場所に新たに整備することにより、迅速な消火活動が可能となり、市民の生命・財産の消失の抑制が図られているため。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	原状のまま継続
【説明】	市民の生命・財産を火災から迅速に守るため、消防水利施設の整備・更新を継続して行う。